

目撃者から写真・映像をもらう

【基本】もっとも汎用性の高い手段は、**編集局が投稿専用サイトを持つ**ことです。NHK「スクープBOX」、TBS「スクープ投稿」、日本テレビ「投稿BOX」、フジテレビ「ビデオPost」など、キー局はすべて整備しています。スマホ専用アプリも用意している場合もあります。

規約はほぼ同じで、著作権と権利侵害の責任を撮影者に残したまま、無償・無期限の編集権、再利用権を設定しています。しかし、**現実には編集局が責任を負います**。現場で目撃者から写真・映像を入手した場合も、同様の規約を交付するか、規約を説明し本人が同意する映像を残すべきです。ただし、**報道目的の場合の著作権免責があるので、萎縮すべきではありません**。

現場記者の装備をケチるべきではありません。社内（内勤職場）のシステムはどれほど旧式でも勝手ですが、携帯などの電子機器の買い替え期間は3.5年程度なので、現場記者の装備が古いとデータのやり取りができなくなります。USBケーブルは常にカバンに入れておくべきです。

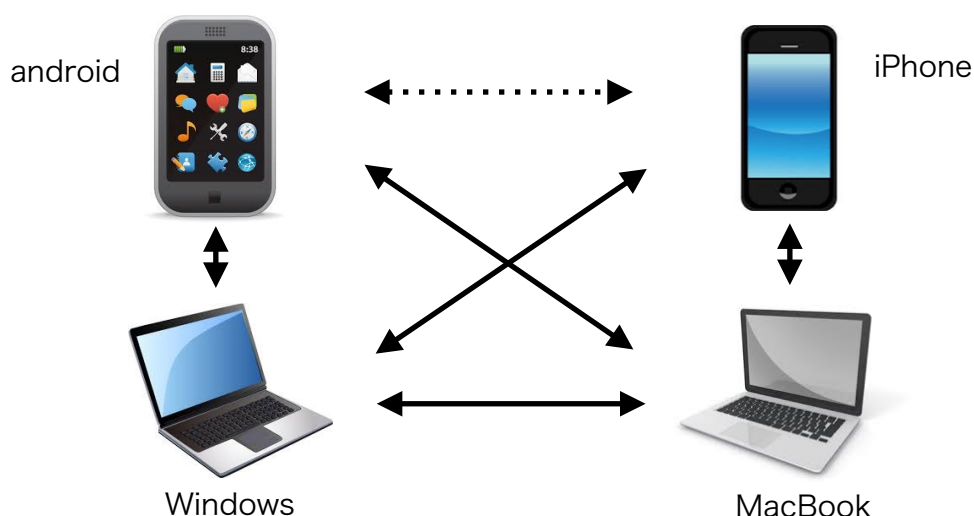
次善の策は、**ファイルを添付したメール**をもらう場合です。動画の場合、送信側、受信側の双方のファイルサイズを上限（GMailは25MB）を超えるとロストします。また、**LINE経由**で映像（300MB、90秒以内、圧縮され劣化します）を受け取る手法もありますが、相手次第です。

現場で直接ファイルをやり取り方法には、①Bluetoothを使った転送、②USBケーブルを使った転送、③SDカードを使った書き出し（Androidのみ）があります。いずれも、普段からの練習が必要です。

Bluetoothによる転送

Bluetoothは、数メートルの距離でデジタル機器間を結ぶ仕組みで、ワイヤレスキーボードやマウスに使われています。同じ仕組みを使ってファイルも送受信できます。直接通信を行うので携帯のバッテリーを消費しませんが、**高速ではありません**。電池はあまり消費しません。動画の転送には1-5分必要ですが、その間に撮影時の状況を取材したり、写真映像の使用条件を説明できます。

いまのところ、**Android⇔iPhoneの異種スマホ間の転送はできません**。



iPhoneの場合

①Bluetoothによる転送（Appleの呼称はAirDrop、iOS7以上iPhone5以降、Androidには送れません）

	<p>1.画面下からスワイプ 2.Bluetooth（一番上の左から2つ目）をオン 3.Wifi（一番上の左から3つ目）をオン</p>		<p>4.AirDropをオンにし「すべての人」を選ぶ</p>
	<p>（送り手） 5.写真動画のアプリの下部左端のアイコン（転送のマーク）を選ぶ</p>		<p>（送り手） 6.AirDropの相手を選ぶ （受け手） 7.ファイルを受け入れる 8.転送が始まる</p>

②USBケーブルを使った転送 **iTunesで接続しないこと！**

「信頼する」かどうか訊かれた場合は、「信頼する」を選んでください。

Windowsの場合：OS標準のエクスプローラーで、iPhoneのInternal StorageにあるDCIMフォルダから、対象ファイルを見つけ、デスクトップにドロップする。



Macの場合：OS標準アプリのイメージキャプチャーで接続する

Androidの場合

①Bluetoothによる転送（iPhoneには送れません）

	<p>1.設定の「詳細設定」からBluetoothを選ぶ ※Androidは機種によって外観が異なります</p>		<p>2.相手の端末・PCを選ぶ</p>
			

②USBケーブルを使った転送

	<p>1.設定のストレージで、「USBでパソコンに接続」を許可しておく。 「USBストレージをオンにする」と聞かれる場合もあります。</p>		<p>2.場合によっては、メディアデバイス(MTP)をオンにする必要があります</p>
---	--	--	---

Windowsの場合：OS標準のエクスプローラーで、iPhoneのInternal StorageにあるDCIMフォルダから、対象ファイルを見つけ、デスクトップにドロップする。

Macの場合：OS標準アプリのイメージキャプチャーで接続する。

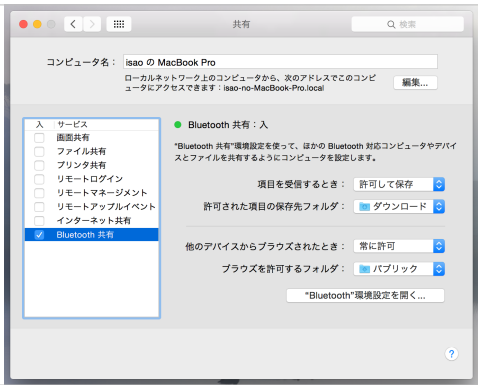




③SDカード（自分のSDカードに書き出してもらう）

todo

MacBook（受け手）の設定

①Bluetoothによる転送

注意：無線LANがない場所でも必ず**Wifiをオン**にしておく必要があります

	
<p>1. 設定の共有で、Bluetooth共有をオンにする。相手がiPhone（AirDrop）の場合、省略できる。</p>	<p>2.メニューバーから「Bluetooth環境設定を開く..」を選ぶ</p>
	
<p>3.相手とペアリングする</p>	<p>4. 相手がiPhone（AirDrop）の場合、FinderのAirDropを開き、「このMacを検出可能な相手」を「全員」にする。（ない場合はFinderの環境設定・サイドバーから追加する）</p>
	<p>5. 相手からのファイルを受け入れる</p>

②USBケーブルを使った転送

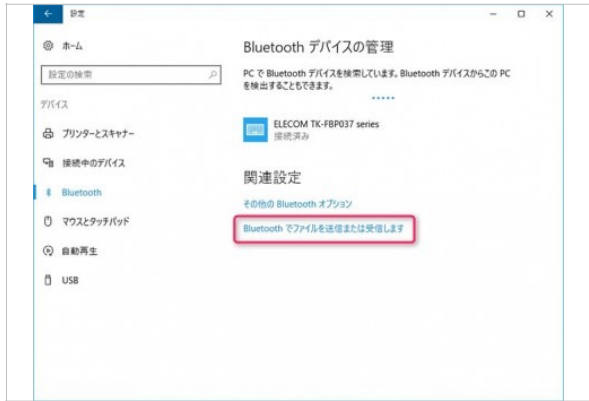
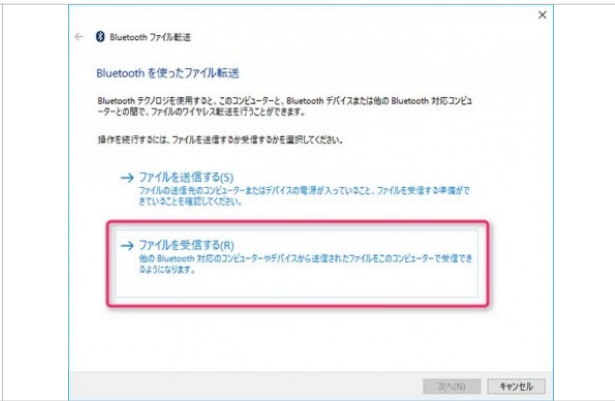
iPhoneの場合：OS標準アプリのイメージキャプチャーで接続する

Androidの場合：Googleの専用アプリ（<https://www.android.com/filetransfer/>）で接続する

Windows（受け手）の設定

①Bluetoothによる転送

そのWindowsPCにBluetooth機能があるか、**事前に確認**しておくこと。

	
<p>1. 設定（PC設定）→デバイス→Bluetoothで接続する携帯を選ぶ</p> <p>2. 「Bluetoothでファイルを送信または受信します」を選択する</p>	<p>3. ファイルを受信するを選ぶ （PCが受信待ち状態になる）</p> <p>4. スマホから写真・動画を転送する</p>

②USBケーブルを使った転送

Androidの場合：エクスプローラーでPC側にコピーする。機種によって写真・動画が保存されているフォルダDCIMの場所は異なります。

iPhoneの場合：Androidと同じ。